

2010 年合同世界会議

～ソーシャルワークと社会開発：アジェンダ～

2010 年 6 月 10～14 日

香港會議展覽中心（香港、中国）

第三報

www.swsd2010.org



Conference Patron:

The Honourable
Mr. Donald TSANG Yam-kuen, GBM, JP
Chief Executive
Hong Kong Special Administrative Region

International Hosts:



Local Hosts:



City University of Hong Kong



Hong Kong Baptist University



Hong Kong Shue Yan University



The Chinese University of Hong Kong



The Hong Kong Council of Social Service



The Hong Kong Polytechnic University



The Hong Kong Social Workers Association



The University of Hong Kong

Co-organizers:



Hospital Authority



Social Welfare Department

Supporting Organizations:



China Association for Social Work Education



China Association of Social Workers



Consortium of Institutes on Family in the Asian Region



Council on Social Work Education (CSWE)



Employee Retraining Board (Hong Kong)



International Consortium for Social Development



Macau Social Workers Association



National Association of Social Workers (NASW)



Social Workers Registration Board (Hong Kong)

2010年合同会議一次の10年に向けたアジェンダ

21世紀が始まった頃、私たちにはビジョンがありました。ミレニアム開発目標（MDGs）、デジタル連帯（デジタル格差解消のための連帯）、社会的革新、持続可能な開発、等々です。2010年、国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）、国際社会福祉協議会（ICSW）、そして国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）は、次の10年間におけるソーシャルワークおよび社会開発のための新しい行動アジェンダを作り上げるために、2千人以上のソーシャルワーカーおよび社会開発活動家が関与する世界的なコンサルテーション・プロセスを組織化すべく、香港において初めて手を取り合うこととなりました。課題を設定し、議論を開始し、また、以下の事柄を達成するために、アジェンダを把握し、形作る旅にごいっしょしませんか。

- ▶ 新しい知識および技能を分かち合い、優れた実践および開発戦略に文献付記を行い、実践における質、優秀性、革新の追求また社会開発およびソーシャルワークの提唱においてお互いに能力を高め合う
- ▶ 変遷するニーズや問題に対処すべく、専門職のための新しい解決策あるいは新しい役割を見出すため、対話を広げるためのフォーラム同様、学習機会を創出する
- ▶ 人を中心とした持続可能な社会の進歩のための世界的アジェンダをリードするために、世界的ディベートをリードし、世界的な機関と関わり、専門家間に相乗作用を創出する

新しい行動アジェンダを構築し、ソーシャルワークおよび社会開発の新しい方向性および優先順位を確立するための旅に、謹んでご招待申し上げます。ご一緒に、この世界がより住み安いものに変えることができます。



会議テーマとサブテーマ

『アジェンダ』をまとめるために、以下の3つのテーマと25のサブテーマについて、**実践、政策**および**教育**に関する議論を行ないます。ソーシャルワークおよび社会開発における事実に基づく成果を得るために、知識と干渉の生成および系統的な応用に力点を置きます。

I. ライフコースの課題と現実化

サブテーマ

- 児童福祉
- 青少年の育成
- 家族と結婚
- 女性とジェンダー問題
- 活発な高齢化と長期ケア
- 精神保健問題

II. 公正とソーシャル・インクルージョン

サブテーマ

- 教育と生涯学習、資産構築と社会的機動性
- 雇用、移民労働者およびディーセント・ワーク
- 貧困撲滅と社会保障
- 多様性の受け入れとインクルージョン
- 逸脱、中毒、ギャンブル
- 暴力、犯罪および人身売買

III. 持続可能な環境

サブテーマ

- グローバリゼーション、人口移動および経済的不安定性
- 持続する健康管理および自己管理
- 災害対応と環境変化
- シェルター、住居および都市部／地方人口移動
- コミュニティ開発、保護および保全（物理的、社会的、文化的）
- 慈善活動、企業の社会的責任（CSR）、パートナーシップ、社会資本および市民社会

- 利用者参加と自立運動
- 福祉の融資と計画
- 教えること、学ぶこと、そして実践：ソーシャルワーク教育の統合
- その土地固有の文化的にデリケートな実践
- 影響とアドボカシー、専門的な関わりと価値
- 知識マネジメント、モデル構築、根拠に基づいたリサーチ
- 革新／技術／HUSITA（この流れは[HUSITA9@2010 Joint World Conference](#)と同じです）（英語のみ）

(※) 上記のサブテーマ以外のトピックも提案される可能性があります。

公式言語

全ての基調講演および全体会議において、英語、仏語、西語および普通語（※中国の標準語）への同時通訳があります。シンポジウムおよび平行ワークショップは主として英語で行われます。

会議プログラム

(別紙『プログラム』参照) →P.27

主なスピーカー

基調講演



沙祖康先生 (Mr. Sha Zukang)
国連経済社会局
国連事務次長

沙祖康氏は、国連経済社会局（DESA）を率いており、万人のための開発を達成すべく、国際協力の促進・支援に責任を負っています。DESA は、各国政府の世界レベルでの開発に関するアジェンダ設定や意思決定を補助し、またミレニアム開発目標を含む世界的な公約を各国の政策や行動に移し替えていく手助けをしています。DESA はまた、市民社会とも親しく仕事をしており、国際経済サミットや社会サミット、その他の DESA のイベントへの彼らの参加が可能となるようしています。

沙祖康氏は、経済・社会問題に関する執行委員会の議長も務めています。

全体会議

【貧困撲滅】



Prof. Hans Rosling

Professor, International Health, Karolinska Institutet and
Director, Gapminder Foundation, Sweden



Mtra. Marina Arismendi

Minister for Social Development, Uruguay



Prof. Vivienne Taylor

Associate Professor and Head, Department of School of Social
Development, University of Cape Town, South Africa

【人権と開発】



Mr. Chan-Yau Chong

President, Hong Kong Blind Union, Hong Kong



Mrs. Irene Hoskins

President, International Federation on Ageing

【ライフコースの課題と現実化】



Prof. Alan Walker

Professor, Social Policy and Social Gerontology,
University of Sheffield, UK



Ms. Val Maasdorp

Clinical Director, Island Hospice and Bereavement
Service, Zimbabwe

IASSW Eileen Younghusband 記念講演

【社会・国家開発におけるソーシャルワーク教育者の役割：中国のケースと国際社会との関係】



Prof. Sibin Wang

Professor, Department of Sociology, Peking University, China,
President, China Association for Social Work Education, China

シンポジウム

【より結びつきの強い社会に向けての個人および家族の育成】



Prof. Dorothy A. Scott

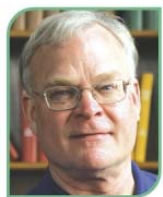
Foundation Chair of Child Protection and Director, Australian Centre for Child Protection, University of South Australia, Australia



Prof. Joyce Feng

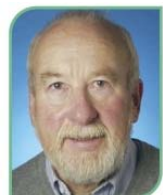
Professor, Department of Social Work and Dean, Student Affairs, National Taiwan University, Taiwan

【開発のためのヒューマン能力および社会能力の強化】



Prof. Michael Sherradan

Benjamin E. Youngdahl Professor of Social Development and Founding Director of the Centre for Social Development, George Warren Brown School of Social Work, Washington University, USA



Prof. Walter R. Heinz

Professor Emeritus of Sociology, Bremen International Graduate School of Social Science, University of Bremen, Germany

【保健および精神保健促進におけるソーシャルワーク専門刷新】



Prof. Grace Christ

Professor, School of Social Work, Columbia University in NYC, USA



Prof. Cecilia Chan

Professor, Department of Social Work and Social Administration, The University of Hong Kong, Hong Kong



Prof. Vimla nadkarni

Professor, School of Social Work, Tata Institute of Social Sciences, India

【貧困撲滅に向けた人権ベースのアプローチ】



Prof. Darja Zavirsek

Chair of the Department for Research of Social Justice and Inclusion, Faculty of Social Work, University of Ljubljana, Slovenia



Ms. Isabel Ortiz

Associate Director, Policy, Advocacy and Knowledge Management, UNICEF



Ms. Judith Kaulem

Executive Director, Poverty Reduction Forum Trust, Zimbabwe

【恵まれない人々のインクルージョン】



Prof. Julien Damon

Head, Department of Social Affairs, Centre for Strategic Analysis, Paris Institute for Political Sciences, France



Prof. Joav Merrick

Founder and Director, National Institute of Child Health and Human Development, Israel

【ソーシャルワークという仕事への重要な反省と回帰】



Prof. Ira Colby

President of the Council on Social Work Education & Dean of Graduate College of Social Work, University of Houston, USA



Dr. Iain Ferguson

Convener, Social Work Action Network



Prof. Lena Dominelli

Professor, School of Applied Social Sciences, Durham University, UK

【社会開発の新しい推進力（モメンタム）】



Mr. Geoff Mulgan

Director, The Young Foundation, UK

【社会開発の戦略化】



Prof. James Midgley

Harry and Riva Specht Professor of Public Social Services and Dean Emeritus, School of Social Welfare, University of California, Berkeley, USA



Prof. Braema Mathi

Regional President, ICSW (South East Asian & Pacific) and Committee Member, MARUAH, Singapore



Prof. On-Kwok Lai

Professor, Graduate School of Policy Studies, Kwansai Gakuin University, Japan

【ソーシャルワーク教育における最良の実践と継続する専門性開発】



Prof. John Carpenter

Chair of Social Work, Bristol University, UK



Prof. Elena Larskaia-Smirnova

Professor, Department of Social Anthropology & Social Work, Saratov State Technical University, Russia



Prof. Ian O'Connor

Vice Chancellor and President, Griffith University, Australia

【ソーシャルワーク研究と実践の結合】



Prof. Bruce Thyer

Professor of Social Work, Florida State University, USA



Prof. Mike Fisher

Head of Quality & Research, Social Care Institute for Excellence, UK



Prof. Daniel Shek

Chair Professor, Department of Applied Social Sciences, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong

【実践研究着手のためのソーシャルワーカーの権利拡大】



Prof. Irwin Epstein

Rehr Chair in Applied Social Work Research, Hunter College, School of Social Work, City University of New York, USA



Prof. Chista Fouche

Associate Professor, School of Counselling, Human Services & Social Work, University of Auckland, New Zealand



Prof. Tatsuru Akimoto

Professor, Graduate School and Faculty of Integrated Arts & Social Sciences, Japan Women's University, Japan

【ソーシャルワーク研究と臨床実践：異なるコンテキストにおける事例】



Prof. Alean Al-Krenawi

Professor, Spitzer Department of Social Work, Ben-Gurion University of the Negev, Israel



Prof. Jane Gilgun

Professor, School of Social Work, University of Minnesota, USA



Prof. Takeshi Tamura

Professor, Tokyo Gakugei University, Japan

プログラム・ハイライト

社会保護に関する会議前ワークショップ（2010年6月10日）

本ワークショップは、国連経済社会局と協力して開催されます。

ソーシャルワークの定義、倫理、人権と女性に関する会議前ワークショップ（2010年6月10日）

これらのワークショップは、各々 IASSW、ICSW、IFSW と協力して開催されます。

平行ワークショップおよびポスター・セッション（2010年6月11～13日）

会議テーマおよびサブテーマに関連したトピックスについて、会議発表のための概要および申請書を募集します。他の発表のフォーマットも受付可能です。要約に明記してください。要約提出締切日は **2009年11月30日** である。詳しくは『要約募集』のページをごらんください。

共催ワークショップ（2010年6月11～13日）

関連組織との共催で行なわれます。

● IFSW

出生登録に関するワークショップ

● ニュージーランド・ソーシャルワーカー登録評議会（NZSWRB）、ソーシャルワーク評議会連合（ASWB）、全国ソーシャルワーク資格認定評議会（NSWQB）、オンタリオ・ソーシャルワーカーおよび社会福祉従事者大学（OCSWSSW）

1. 規制に関するワークショップ：移動職業のための国際プロセス
2. 規制に関するワークショップ：ソーシャルワーク教育のための国際基準

● ソーシャルワーク行動ネットワーク（Social Work Action Network: SWAN）

1. 「新自由主義、マネジエリアリズム（管理政策主義）およびソーシャルワーク」についてのワークショップ
2. 「戦争、政治的紛争およびソーシャルワーク」についてのワークショップ
3. 「提供のソーシャルワークに向けて」についてのワークショップ

● ヒューマン・サービス情報技術応報（Human Service Information Technology applications: HUSITA）

HUSITA9@2010 Joint world Conference

● 国際ソーシャル・サービス（International Social Service: ISS）

「国境を越えて離れ離れになった子どもと家族：サービス提供モデルと変化のための提唱」についてのワークショップ

● 香港工科大学（The Hong Kong Polytechnic University）

「香港における積極的若者育成プログラムの開発および評価」についてのワークショップ：The

Project P.A.T.H.S. in Hong Kong

視察見学（2010年6月11～12日）

オブショナルの視察見学が、2010年6月11～12日の午後に行なわれます。書く視察見学は、会議のサブテーマと関連付けられており、香港における社会事業をより深く学んでいただけるようになっています。地元の社会福祉関係者と出会い、プロジェクトを見学し、利用者と触れ合う絶好の機会ともなるでしょう。

社交・文化活動

東西が出会う坩堝、そして伝統が近代と出会う場所として、香港は素晴らしいグルメ、ショッピング、そして旅行の地として知られています。皆様のために以下の社会・文化活動をご用意いたしましたので、是非ご参加ください。香港を満喫する機会をお見逃しなく！

【第2日目～第5日目】 (6月11日～14日)	健康とバイタリティーのための早朝体操：太極拳、功夫、気功
【第2日目】(6月11日)	文化催事：中国社会の文化的な芸能、伝統的な食べ物、工芸品、お土産品、その他
【第3日目】(6月12日)	地元催事：5つのルートに分かれて香港の夜を体験（お1人様1ルート当たり20米ドル）
【第4日目】(6月13日)	送別宴：お一人様50米ドル

人数に限りがありますので、お早めにご予約下さい！予約に当たっては「登録用紙」のセクションⅢにご記入ください。プログラムの詳細ならびに空港送迎サービス等につきましては、会議のホームページをごらんください。

会議サロン

12:30～13:30の昼食時間に、会議サロンを利用して非公式な交流や会合をお持ちいただくことができます。なお、こうした会合には設備（ノート、DVDなど）サービスやスタッフ・サポートなどのご利用いただけません。会議室の予約は早い者勝ちとなっております。詳細につきましては、2010年5月にホームページ上で発表される予定となっております。

会議後ツアー

ツアーの詳細ならびに予約につきましては、会議のホームページをごらんください。

コード	ツアー名	日付	1人当たり料金	
			ツイン	シングル
T1	マカオ・ツアー	2010年6月15日	HK\$700	
T2	2日間広州ツアー～NGO訪問	2010年6月15～16日	HK\$1,900	HK\$2,300
T3	3日間桂林ツアー	2010年6月15～17日	HK\$3,900	HK\$4,600
T4	3日間西安歴史ツアー	2010年6月15～17日	HK\$5,800	HK\$6,300
T5	6日間西安&北京歴史ツアー	2010年6月15～20日	HK\$10,000	HK\$12,300
T6	6日間上海（含上海エキスポ）&北京ツアー	2010年6月15～20日	HK\$12,000	HK\$15,100

(注) ツアーT2 および T6 は、視察と観光を兼ねる。最少催行人数 15 名。T3～T6 については空港税と燃料サーチャージは含まれない。予約に際しては、それぞれ 1 人当たり HK\$500 (T2)、HK\$1,000 (T3～T6) の手付金が必要 (返金不可)。残金については 20110 年 5 月 25 日までに支払いのこと。

サイド・イベント

学生会議／サミット向けアイデア募集中

学生会議／サミットは、ソーシャル・ワーク・プログラムおよび関連する分野を学ぶ学生に、今日ソーシャルワークおよび社会開発が抱える問題点をよりよく理解するための機会を与えること、また彼らが自分たちの意見を発表し、世の中に変化をもたらすために共に働く機会を与えることを目的として催されます。地元の学生および海外からの学生に、イベントのテーマおよびフォーマットに基づいたイベントの提案を広く呼びかけるものです。2009 年 12 月 31 日までにメール (info@swsd2010.org) にてお送り下さい。

展示パッケージ

この会議は、世界中から集まった2千人以上の社会福祉や社会事業、学术界、研究分野の関係者、あるいは政策立案者らの知己を得たり、また彼らとネットワークを作ったりするのに最適なプラットフォームです。展示スペースは、メインとなる会議場に直接つながるエリアにあります。インターネット・コーナーやポスター展示の場所も同じところにあります。また、コーヒブレークの場所も近くにありません。

標準パッケージ	NGO 料金		企業料金	
	地元	海外	地元	海外
A. 3m×3m (9 m ²) ブース	HK\$5,000	US\$750	HK\$20,000	US\$3,000
B. 2,423mm(W)×502mm(D)×2,000mm (H) ブース	HK\$3,500	US\$450	HK\$10,000	US\$1,500

締め切りは2010年4月30日です。会議展示の詳細および展示申請書類は、会議のホームページにあります。場所は限られており、早い者勝ちです。今すぐお申し込み下さい。お問い合わせは、下記までメールにてお願いいたします。

info@swsd2010.org

有料技能訓練ワークショップ

一連の有料技能訓練ワークショップは、2010年9月15～16日に行なわれます。ワークショップの料金は、1日で100米ドル、半日で50米ドルです。これらのワークショップは、会議登録費ではカバーされません。事前登録が必要です。席数は限られており、早い者勝ちです。この他にもワークショップの予定があり、追って発表される予定です。詳しくは会議のホームページをご覧ください。

コード	確定済みワークショップ (講師)
PRE-1	ブリーフ・セラピー (Dr. Monit Cheung、ヒューストン大学、米国)
PRE-2	ソーシャルワーク的干渉における身体 - 知性 - 精神的アプローチ (Dr. Pamela Leung、香港大学)
PRE-3	中国人利用者との作業における認知療法の土着化：臨床経験の分かち合いと反映 (Dr. Daniel Wong、香港大学)
PRE-4	プログラム評価についてのワークショップ

	(Prof. David Thomas、オークランド大学、ニュージーランド)
PRE-5	ソーシャルワークにおけるアートの利用 (Dr. Jordon Potash、アートセラピスト、米国)

IASSW 教員部門ワークショップ・シリーズ

コード	確定済みワークショップ (講師)
POS-1	I : カリキュラム開発 (Prof. Kay Hoffman、ケンタッキー大学、米国)
POS-2	II : 災害救援 (Catherine A. Kendall、米国ソーシャルワーク教育協議会)
POS-3	III : フィールドワーク (Dr. Nai Ming Tsang、香港工科大学)
POS-4	IV : 批判的な反応 (Prof. Gurid Aga Askeland、Diakonhjemmet 大学、ノルウェー)
POS-5	V : ソーシャルワーク教育における価値と倫理 (Prof. Lena Dominelli、ダーラム大学、英国)
POS-6	VI : 国際ソーシャルワーク (Prof. Lynne Healy、コネチカット大学、米国)
POS-7	VII : 土着化 (Prof. Mel Gray、ニューカッスル大学、オーストラリア)
POS-8	VIII : 臨床実践 (Dr. Pauline Sung、香港工科大学)

奨学金

この会議の主たる目的のひとつに、異なる文化圏からの参加者間の国際交流を促進する、というものがああります。主催者は、豊かな文化遺産のある多くの発展途上国からの専門家が、彼らの地元のアイデアや知識、実践経験などをもって会議に貢献してくれるものと確信しています。この奨学金構想では、会議に貢献し得るけれども、参加するためには金銭的な支援が必要な発展途上国からの参加者に、資金援助を提供しようというものです。

応募締切

2009年11月30日

応募者の適格基準

応募者は、

1. 開発途上国の国民であり、応募の時点でこうした国々に住み、またこうした国々で働いていること。
2. 会議に貢献できる能力を示していること。要約もしくは発表の申請を提出した応募者を優先する。
3. 会議主催者から他の賞もしくは奨学金を受けていないこと。

選ばれた応募者の責任

選ばれた応募者は、

1. イベントにきちんと出ること。
2. 会議主催者からの奨学金でカバーされない旅費、宿泊費、およびその他一切の支出について責任を持つこと。

選抜

独立した選抜パネルが結成され、会議に寄与する能力を示すことができた認められた多様な応募者に、金額も様々な奨学金を授与します。応募者は、奨学金がカバーするのは限られた範囲の出費と費用である、ということ、そして奨学金は払い戻しの形で支払われる、ということを経験に銘じなければなりません。選抜プロセスは **2009年12月** に始まります。また選抜パネルは、適格基準を満たさない特別なケースに対して奨学金を授与する自由裁量権を行使する場合があります。

応募方法

『開発途上国向け奨学金応募用紙』(www.swsd2010.orgで入手可能)に記入の上、オンライン、郵便、FAXもしくはeメールにて、**2009年11月30日**までに会議事務局まで提出してください。

(※)個人データ保護条例に従い、全ての個人データは極秘扱いとなります。

要約募集

会議のテーマおよびサブテーマに関連するトピックについての発表の要約をお送り下さい。口頭での発表やポスター／ビデオによる発表以外のものも可能性がありますので、要約にその旨明記してください。

要約提出の期限：2009年11月30日

遅れて提出されたものも考慮します。最終締め切りは2009年12月31日です。遅れて提出された要約については、最優秀要約賞の対象外とします。

インフォメーション

1. 要約はオリジナルのもので、雑誌記事、会議発表など過去いかなる形でも未発表のもの。
2. 1人1本以上の要約提出も認められます。
3. 最終プログラムに自分の発表を組み入れてもらうためには、全ての会議発表者は会議に登録し、登録費を払わなければなりません。
4. 要約を提出した全ての参加者は、開発途上国参加者への奨学金および最優秀要約賞に応募することができます。
5. 発表用フル原稿のOnline Conference Proceedingsへの掲載を希望する場合は、2010年5月1日までに、フル原稿を会議事務局までメール (abstract@swsd2010.org) にて提出してください。遅れて提出した場合、会議事務局は掲載を補償するものではありません。
6. 要約提出のための様式についての詳細は、会議のウェブサイト参照のこと。

www.swsd2010.org

結果の通知

要約の当落通知は、2010年1月15日までに、『要約提出用紙』に記載されたメールアドレスに送られます。送れて提出した場合、2010年3月までに結果が通知される予定ですが、保証の限りではありません。

最優秀要約賞

社会福祉従事者および研究者のベスト100に加えて、香港大学ソーシャルワーク学部をスポンサーとする、社会福祉全般の一般大学生が対象の100本、および40歳以下の研究者を対象とする40本に、最優秀要約賞が贈られます。

- i. 香港大学学生優秀要約賞
- ii. 最優秀要約賞（従事者）
- iii. 最優秀要約賞（研究者）
- iv. 香港大学若手研究者優秀要約賞（40歳以下限定）

それぞれの参加者カテゴリーにおいて、25のサブテーマ各々につき、抜きん出た学術的かつ専門的なメリットを持つ2本の優れた要約を選びます。選ばれた要約の主要著者について、登録費の半額が免除されます。応募者は、2009年11月までに要約とともに応募書類を提出しなければなりません。詳しくは会議のホームページをご覧ください。

応募締切
2009年11月30日

受賞基準

- (a) 関連性：トピックが会議のテーマ／サブテーマと関連している。
- (b) 知的貢献：要約が過去の成果／論文／理論などの上に構築され、発展している。
- (c) 革新性：扱われている内容が最新のものであり、また革新的であり、そしてソーシャルワークおよび社会開発における将来の進歩を導くものである。
- (d) 明快性：要約がわかりやすく書かれ、また全ての基本的な情報を含んでいる。

結果の通知

最終結果については、2010年1月15日までに通知します。

発表および出版

受賞は会議中に発表されますが、受賞者はそれに先立って選出委員会により選出されます。受賞した要約／ペーパーは、特別会議出版物の中に収められる可能性があります。受賞したペーパーの著者は会議で発表するよう求められます。選出委員会は、各サブテーマにおいて各カテゴリーから2名未満の受賞者を選出する権利を保持します。選出委員会の決定を最終的とします。

応募の仕方

『要約提出用紙』（www.swsd2010.orgで入手可能）に記入の上、2009年11月30日までに、郵便、FAXもしくはメールにて会議事務局まで提出してください。オンラインでの応募をお勧めします。お問い合わせは会議事務局まで（info@swsd2010.org）。

登録

早期割引締切

2010年3月1日

登録の仕方

1. オンライン登録 (www.swsd2010.org) をご利用下さい。登録情報は速やかに、かつ正確に処理されます。
2. インターネットの接続環境がなく、オンライン登録をご利用でない場合は、別添の『問い合わせフォーム』にご記入の上、FAXもしくはメールで会議事務局宛に『登録用紙』をご請求ください。お問い合わせは会議事務局まで (registration@swsd2010.org)。

なお、e-メールによる登録は受け付けておりませんのでご注意ください。

カテゴリー	早期登録 (2010年3月1日以前)	標準レート (2010年3月1日以降)
1. 香港香港／中国本土／マカオからの参加者		
香港／中国本土／マカオからの参加者	2,000 香港ドル	2,500 香港ドル
香港／中国本土／マカオからの学生	1,000 香港ドル	1,250 香港ドル
2. IASSW、ICSW、IFSW メンバー		
開発途上国からの参加者	250 米ドル	350 米ドル
先進国からの参加者	450 米ドル	550 米ドル
3. IASSW、ICSW、IFSW フレンズ		
開発途上国からの参加者	235 米ドル	335 米ドル
先進国からの参加者	435 米ドル	535 米ドル
学生	185 米ドル	285 米ドル
4. IASSW、ICSW、IFSW 非メンバー		
開発途上国からの参加者	350 米ドル	450 米ドル
先進国からの参加者	550 米ドル	650 米ドル
6. 学生	200 米ドル	300 米ドル
7. 同行者	150 米ドル	250 米ドル

登録の確認

登録用紙と登録費を受け取り次第、事務局は登録番号および登録の詳細を添えた登録確認書を送ります。オンライン登録をした参加者は、登録が終わり次第、確認書をプリントアウトすることができます。登録の訂正・変更については、会議事務局に書面にて連絡のこと。登録費が事務局に届くまでは、登録確認書それ自体を、登録完了証明として扱うことはできません。満額支払い受領後、最終確認書が会議の前にメールにて送られます。2010年5月までに受け取れなかった場合は、下記の会議事務局までご連絡下さい。

registration@swsd2010.org

ビザの請求

香港への入国ビザが必要な参加者については、会議事務局は登録済参加者の請求に応じて、旅行ビザ申請のための招聘状を発行します。しかしながら、参加者への金銭的な公約もしくは支援については一切言及いたしません。詳しくは下記を参照のこと。

<http://www.immd.gov.hk>

宿泊

会議ホテル

2010年6月8日～16日まで、幅広いチョイスの会議ホテルを特別価格でご用意しております。部屋数は限られておりますので、早い者勝ちとなっております。予約の締め切りは2010年4月1日です。締め切り後のご予約については、ホテルの空き具合により、一番お得なお値段でのご提供となります。

等級	ホテル名	部屋タイプと一泊の室料		朝食	会議場からの距離
5★	Island Shangri-la Hotel	山側デラックス	HK\$2,695	HK\$275	1km、徒歩 15 分
		港側デラックス	HK\$3,315		
	JW Marriott Hotel	山側	HK\$2,420	HK\$240	1km、徒歩 15 分
4★	Renaissance Harbour View	庭側スーペリア	HK\$1,540	HK\$190	同じコンプレックス内
		港側スーペリア	HK\$1,980		
	Novotel Century Wanchai	スタンダード	HK\$1,045	HK\$130	0.5km、徒歩 5 分
	Metropark Wanchai	スタンダード	HK\$750	HK\$70	0.5km、徒歩 7 分
	Empire Hotel Wanchai	スーペリア	HK\$700	HK\$90	0.5km、徒歩 7 分
	Wesley Hotel	スタンダード	HK\$680	中華のみ(*)	0.7km、徒歩 9 分
	Wharney Guangdong Hotel	スタンダード	HK\$650	HK\$95	0.5km、徒歩 7 分

3★	The Harbour View	プレミア	HK\$660	HK\$70	0.3km、徒歩 3分
		港側プレミア	HK\$770		
	The Charterhouse	スタンダード	HK\$650	HK\$80	1km、徒歩 15分

(*)価格確認

予約条件

- 全ての参加者は、会議の公式旅行代理店である Swire Travel と部屋の予約および保証金支払いに関する取引を行なう。全ての保証金、キャンセル料、修正料金は、Swire Travel Ltd.を通してホテルに支払うものとする。
- 公式なチェックイン時間は 14:00 であり、公式チェックアウト時間は 12:00 である。
- ホテルの部屋の予約：予約を確定させるために、ホテル側は 1泊分の料金を保証金として要求する(『前払い』)。
- 最終支払い：全ての室料は Swire Travel Ltd.によって、到着予定日の 1週間前に請求される。
- キャンセル/不泊：特別価格での提供のため、既に確定済みの予約をキャンセルする場合、あるいはチェックインに間に合わなかった場合は、以下のキャンセル料が課せられる。

2010年4月1日以前	全額返還
2010年4月1日もしくはそれ以降	一泊分のペナルティー
2010年6月4日もしくはそれ以降	100%全泊分のペナルティー

当日姿を見せない場合は、自動的にキャンセルとなる。キャンセルはすべて Swire Travel Ltd.に対し、書面で行なわれなければならない。Swire Travel Ltd.からは、メールもしくは FAX でキャンセル受付の旨が通知される。

注意

上記の価格は、全てのサービス料金を含みます。保証金としての一泊分は、予約の時点で請求されます。また、残額については 2010年6月3日までに請求されます。

予約および支払い方法

会議ホテル、空港送迎サービスおよび会議後のツアーの予約につきましては、以下の方法を通じて、会議の公式旅行代理店である Swire Travel Ltd.までお問い合わせ下さい。

1.	オンライン登録： www.swsd2010.org
2.	会議ホームページで「ホテル・ツアー予約用紙」を入手し、ご記入の上、Swire Travel Ltd.まで直接ご返送下さい。住所は以下の通りです。 6/F, Cambridge House, Taikoo Place, 979 King's Road Quarry Bay, Hong Kong, China

Tel: (852)3151-8900 Fax:(852)2590-0099 メール : swsd2010@swiretravel.com

お支払いについては以下の通りです。

1.	電信送金（香港ドル） 口座名義 : Hong Kong & Shanghai Banking Corporation 口座番号 : 111-016275-002 住 所 : No.1, Queen's Road (※) 送金領収書のコピーを SwireTravel Ltd.まで FAX (852-2590-0099) にてお送り下さい。なお、送金にかかる手数料の一切は、送金者の負担となります。
2.	クレジット・カード支払い : 予約用紙にクレジット・カードの詳細をご記入下さい。

詳しくは会議ホームページをご覧ください。

www.swsd2010.org

寮

Hunghom（紅磡）、Pokfulam（薄扶林）あるいはKowloon（九龍）にある地元大学の学生寮の部屋を確保してあります。会議場（HKCEC）まではバスで 15～20 分です。金額は、シングルでHK\$200～300、ツインでHK\$300～400 です。部屋数が限られていますので、学生および開発途上国からの参加者を優先させていただきます。これらの寮の部屋はグループ予約のみ受け付けますので、「寮部屋予約用紙」をダウンロードして必要事項をご記入の上、**2010年4月1日**までに全額を添えてご返送下さい。インターネットへのアクセスができない場合は、会議事務局までメール（info@swsd2010.org）もしくはFAX（852-2528-4230）

にて用紙を請求してください。予約確認後は、一切のキャンセルはお受けできません。しかしながら、他の登録済み参加者に権利を譲渡することは可能です。お問い合わせは会議事務局まで。

重要日程

ペーパー要約提出	2009年11月30日
奨学金および最優秀要約賞への応募	2009年11月30日
ペーパー要約の遅れての提出	2009年12月31日
提出された要約についての決定通知	2010年1月15日
早期登録	2010年3月1日
会議ホテルおよび会議後のツアー予約	2010年4月1日

名譽顧問

- Mr. Matthew CHEUNG Kin-chung, GBS, JP
Secretary for Labour and Welfare, Hong Kong Special Administrative Region
(香港特別区労働福祉長官)
- Dr. York CHOW Yat-ngok, SBS, JP
Secretary for Food and Health, Hong Kong Special Administrative Region
(香港特別区食料保健長官)
- Mr. TSANG Tak-sing, JP
Secretary for Home Affairs, Hong Kong Special Administrative Region
(香港特別区内務長官)
- Mr. Edward YAU Tang-wah, JP
Secretary for Environment, Hong Kong Special Administrative Region
(香港特別区環境長官)
- Mr. ZHANG Tiefu
Director General of Social Work Department
(ソーシャルワーク局長)
Liaison Office of the Central People's Government in the Hong Kong S.A.R.
(在香港特別区中央人民政府連絡担当官)

各種委員会

組織委員会

Ms FANG Meng-sang, Christine (Chairperson)
Mrs LEUNG NGAI Mou-yin, Justina (Vice-chairperson)
Prof CHAN Lai-wan, Cecilia
Ms CHAN Mei-kit, Maggie
Dr CHAN Wing-leung, Timothy
Dr CHANG Sau-han, Joyce
Ms CHANG Siu-wah, Alice
Mr CHUA Hoi-wai
Mr FUNG Pak-yan
Prof KWAN Yui-huen, Alex
Mr LAI Wing-hoi, Frederick
Rev LAU Wai-ling, Dorothy
Prof MOK Bong-ho
Mr NG Shui-lai
Mr NGAI Kong-yiu, Samuel
Dr TSANG Kit-man, Sandra
Prof WONG Cheong-wing, Victor
Mr WONG Yuk-tong
Prof YUEN TSANG Woon-ki, Angelina
Dr YUK Tak Fun, Alice
Mrs YUK Yin-king, Helina

地元プログラム委員会

Prof CHAN Lai-wan, Cecilia (Chairperson)
Prof SHEK Tan-lei, Daniel (Co-chairperson)
Mr CHAN Kam-ming, Ken
Mr CHAN Kin-hung, Charles
Dr CHAN Wing-leung, Timothy
Dr CHANG Sau-han, Joyce
Ms CHENG Lai-ling, Crystal
Mr KWOK Lit-tung
Ms LAU Miu-chun, Kari
Dr LAW Koon-chui, Agnes
Mrs LEUNG NGAI Mou-yin, Justina
Prof MA Lai-chong, Joyce
Mr MAK Hoi-wah
Prof NG Yat-nam, Petrus
Prof NGAI Sek-yum, Steven
Mr POON Kwong-fai, Silas
Mr TSANG Wing-keung, Johnny
Dr TSUI Man-chi, William
Mr WONG Yuk-tong
Ms YECH Chak-sum
Ms YING Fung-sau, Winnie
Mrs YUK Yin-king, Helina

国際プログラム委員会

Prof. CHAN Lai-wan, Cecilia (Chairperson)
Prof. SHEK Tan-lei, Daniel
Ms. Solveig ASKJEM
Prof. Gary BAILEY
Dr. Natalie BOLZAN
Prof. Ira COLBY
Prof. Lena DOMONELLI
Mr. Gilbert FAN
Ms. FANG Meng-sang, Christine
Prof. Lynne HEALY
Mr. Ivan HOCHBERG
Ms. Eva HOLMBERG-HERRSTRÖM
Mr. David JONES
Dr. Jim KELLY
Mrs. LEUNG NGAI Mou-yin, Justina
Prof. MA Fengzhi
Ms. Val MAASDORP
Mrs. Thea MEINEMA
Dr. Carolyn MESSNER
Prof. Chris MILLER
Prof. MOK Ka-ho, Joshua
Prof. Elizabeth MOTA
Prof. Tomotomi OKA
Prof. M RAMESH
Prof. Vishanthie SEWPAUL
Prof. Ian F. SHAW
Ms. Gabriele STARK-ANGERMEIER
Mr. Emmanuel TED NANDOLO
Prof. Bruce A. THYER
Dr. Gidraph G. WAIRIRE
Prof. YUEN TSANG Woon-ki, Angelina



Conference Secretariat

The Hong Kong Council of Social Service
Room 1305, 13/F,
Duke of Windsor Social Service Building,
15 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong, China

Tel: (852) 2864 2997
Fax: (852) 2528 4230
Email: **General Enquiry**
info@swsd2010.org

Enquiry for Abstracts Submission
abstract@swsd2010.org

Enquiry for Registration
registration@swsd2010.org

Website: www.swsd2010.org

日 時	6月10日(木)【第1日】	6月11日(金)【第2日】	6月12日(土)【第3日】	6月13日(日)【第4日】	6月14日(月)【第5日】	
08:00~08:30		健康とバイタリティーのための朝の活動				
08:30~09:00						
09:00~09:30	会議前ワークショップ (社会保護; ソーシャル ワークの定義; 倫理; 人 権と女性)	全体会議 I : ライフコースの課題と現 実化	全体会議 II : 公平とソーシャル・イン クルージョン	全体会議 III : 持続可能な環境	全体会議 III : ~ソーシャルワークと社 会開発~アジェンダ	
09:30~10:00						
10:00~10:30		休憩				
10:30~11:00						
11:00~11:30		シンポジウム 1-4	シンポジウム 5-8	シンポジウム 9-12	休憩	
11:30~12:00		平行ワークショップ	平行ワークショップ	平行ワークショップ	閉会式	
12:00~12:30		昼食 (会議場サロン)				
12:30~13:00						
13:00~13:30						
13:30~14:00						
14:00~14:30	平行ワーク ショップ	見学	平行ワーク ショップ	見学	ポスター・ セッション	
14:30~15:00	休憩		休憩			休憩
15:00~15:30						
15:30~16:00	開会式&基調講演	平行ワーク ショップ	平行ワーク ショップ	平行ワーク ショップ		
16:00~16:30						
16:30~17:00						
17:00~17:30						
17:30~18:00		アジェンダに関する3平行セッ ション (IASSW, ICSW, IFSW)	アジェンダに関する3平行セッ ション (IASSW, ICSW, IFSW)			
18:00~18:30						
18:30~19:00	歓迎宴					
19:00~19:30						
19:30~20:00				送別宴		
20:00~20:30		文化催事	地元催事			
20:30~						